

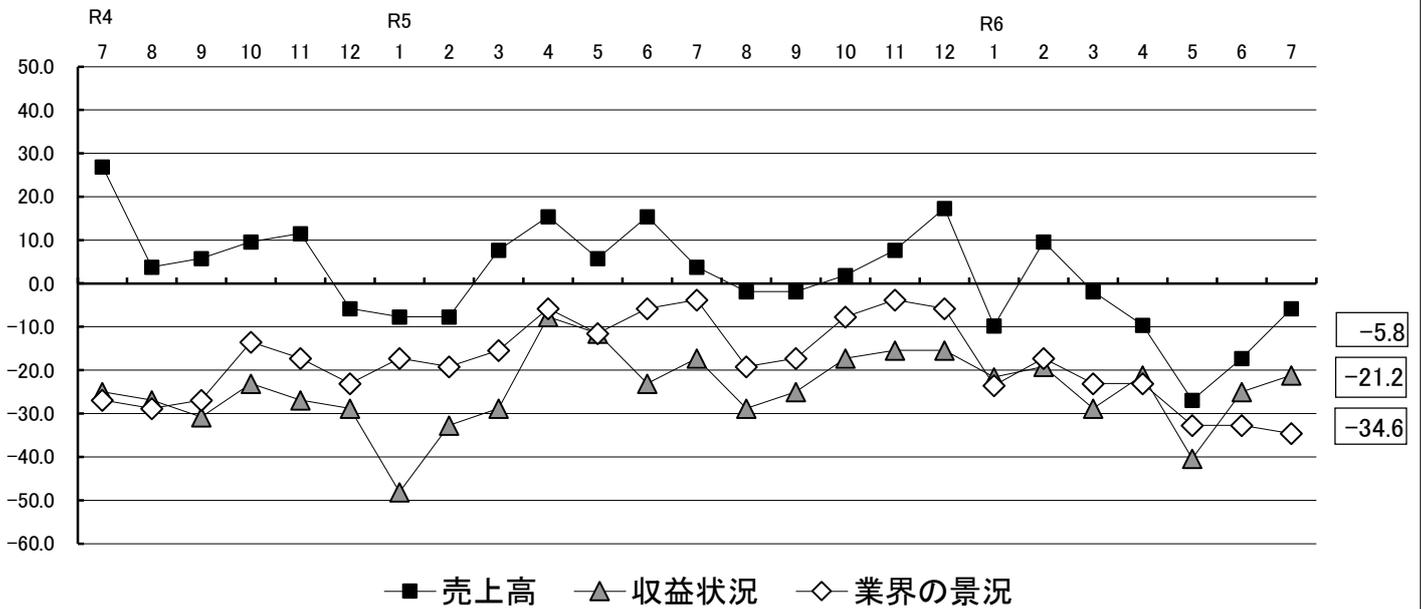
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和6年7月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役員5名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 7月の前年同月比DI値は、前月と比べて、主要3指標では「売上高」「収益状況」で上昇がみられた。一方、「業界の景況」は、低下となった。その他の指標では、「取引条件」「設備操業度」「雇用人員」の3指標が上昇し、「在庫数量」「販売価格」の2指標が低下した。
- ほとんどの業種において、売上高及び収益状況が回復しつつあるが、最低賃金の引き上げも相まって、賃上げの原資確保に苦戦し、依然として多くの業種で収益力の足かせになっている。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-5.8	11.5	-11.8	1.5
収益状況	-21.2	3.8	-25.4	1.0
業界の景況	-34.6	-1.9	-27.0	0.3

売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より11.5ポイント上昇し-5.8ポイントとなった。全国においては、前月より1.5ポイント上昇し、-11.8ポイントとなった。

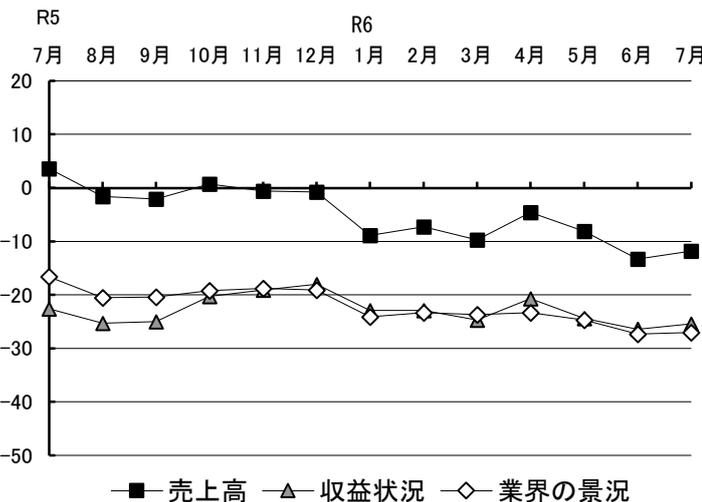
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より3.8ポイント上昇し-21.2ポイントとなった。全国においては、前月より1.0ポイント上昇し、-25.4ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より1.9ポイント低下し-34.6ポイントであった。全国においては、前月より0.3ポイント上昇し、-27.0ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

7月の前年同月比DI値は、図表2のとおり前月と比べ5指標が上昇し、3指標が低下となった。主要3指標では「売上高」は11.5ポイント上昇、「収益状況」は3.8ポイント上昇、「業界の景況」は1.9ポイント低下となった。

製造業のうち「木材・木製品」・「一般機器」においては、前月よりも売上の指標は大幅に増加した。円安の影響により仕入れ資材等の高値が続き、コストが増加しているため景況感は低迷したままである。「繊維工業」では、原材料の高騰・賃金の増加に伴い、単価の見直しを行いたいが、消費者のニーズを考えると高価格帯にすることはできない状況にある。

非製造業では、猛暑による影響により、「運輸業」では、飲料水及び生鮮品などの需要による配送が増えた一方、「小売業」は、夏休みシーズンになり一時的に人出の増加が見られたものの、人手の鈍りは依然として回復していない。また、高温により花材の確保に苦戦を強いられている状況にある。

なお、製造業及び非製造業ともに前月より売上及び収益状況は改善されてきているが、円安の影響による原材料の高騰、人件費の上昇等に加え人材の確保など利益圧迫の状況である。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	25.0	-25.0	75.0	-25.0	-25.0	-50.0	25.0	-25.0	-50.0
繊維・同製品	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
木材・木製品	-25.0	25.0	-50.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-75.0
印刷	-100.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0
窯業・土石	25.0	-50.0	50.0	-25.0	25.0	0.0	-50.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-75.0	0.0	25.0	-50.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-75.0
一般機器	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	-25.0
製造業	0.0	0.0	32.0	-12.0	-16.0	-12.0	-8.0	-4.0	-40.0
卸売業	-33.3	0.0	0.0	0.0	-33.3	-33.3		-33.3	-33.3
小売業	-71.4	-28.6	14.3	-28.6	-57.1	-28.6		0.0	-57.1
サービス業	16.7		50.0	-16.7	-16.7	0.0		0.0	-33.3
建設業	20.0		20.0	0.0	-40.0	0.0		-20.0	-20.0
運輸業	25.0		0.0	25.0	25.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-11.1	-20.0	18.5	-7.4	-25.9	-11.1		-7.4	-29.6
全体	-5.8	-5.7	25.0	-9.6	-21.2	-11.5	-8.0	-5.8	-34.6

図表2 【指標別DI値の推移】

	5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
売上高	3.8	-1.9	-1.9	1.9	7.7	17.3	-9.8	9.6	-1.9	-9.6	-26.9	-17.3	-5.8	11.5
在庫数量	-11.4	-11.4	2.9	-17.1	-17.1	-14.3	-5.9	-8.6	-8.6	-14.3	-2.9	-2.9	-5.7	-2.9
販売価格	30.8	19.2	23.1	26.9	26.9	25.0	27.5	23.1	25.0	19.2	17.3	28.8	25.0	-3.8
取引条件	-15.4	-11.5	-11.5	-3.8	-3.8	-1.9	-5.9	-7.7	-5.8	-7.7	-11.5	-15.4	-9.6	5.8
収益状況	-17.3	-28.8	-25.0	-17.3	-15.4	-15.4	21.6	-19.2	-28.8	-21.2	-40.4	-25.0	-21.2	3.8
資金繰り	-11.5	-13.5	-11.5	-3.8	-1.9	-5.8	-7.8	-5.8	-7.7	-9.6	-15.4	-11.5	-11.5	0.0
設備操業度	12.0	-20.0	0.0	12.0	-16.0	-8.0	-12.0	-4.0	-16.0	4.0	-8.0	-12.0	-8.0	4.0
雇用人員	-7.7	-9.6	-5.8	0.0	0.0	-3.8	-3.9	-5.8	-11.5	0.0	-5.8	-9.6	-5.8	3.8
業界の景況	-3.8	-19.2	-17.3	-7.7	-3.8	-5.8	-23.5	-17.3	-23.1	-23.1	-32.7	-32.7	-34.6	-1.9

特記事項

情報連絡員報告（令和6年7月分）

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	和洋菓子製造業	未だに、原材料の高騰が続いている。業界的には、このところの猛暑に消費が減少傾向である。
	めん類製造業	組合員及び地区内の飲食店において、人手不足問題が出ている。求人を出しても応募がほとんどない状況である。地区内の飲食店では、ホール係が集まらず、ご夫婦ではお店が回らなくなり派遣会社に依頼し、時給1500円の土日月のみの営業で対応している。地元のサービス業においては、経営者の高齢化と後継者不足が原因で、廃業も増えている。県内の観光地では、外国人の観光客は多いが、消費が控えられているとのことで、夏の観光シーズンでも売上増加はあまり期待できなそうである。原材料コストに関しては、落ち着きつつあるが包材の上昇や人件費も上昇気味により、賞与の支給も厳しいとの声がある。
繊維工業	縫製業	売上及び販売価格は増加。要因は、受注数量の増加と確保によるもの。また、加工賃アップの交渉ができたため、なんとか利益も確保できた。同業他社の倒産や廃業が増えている。非常に厳しい状況は続いている。
	染色整理業	好転しているも上昇率の低下と価格他の高騰が気になる。
	絹・レース・繊維粗製品製造業	来春シーズンに向けての動きは、予想通り緩やかな印象。物価高騰に合わせ、給与水準も引き上げ、結果製造原価もアップするとなると、新たに単価の見直しは避けられないが、相変わらず衣料消費は高価格帯を嫌がるので、各メーカーともギリギリの交渉を行っている様子。
木材・木製品	一般製材業	住宅需要の低迷が続く、先行きも不透明感が否めない。工場の稼働率も低下している。また、運賃高及び電気代高騰のコスト上昇も相まって苦しい状況が続いている。
	家具・建具製造業	前月と大きな変化は見られない。住宅着戸数の減少により売上も同様に推移している。金利上昇に伴う悪影響を懸念する声が出ている。
	木材・木製品製造業	戸建住宅の需要は全体として低調。国産木材の価格は下がり、止まっているが反転の兆しは今のところ見えない。外国産木材について円安の影響により一部値上りが見られるが全体的には価格転嫁は出来ていないのではないかと思う。
印刷	印刷業	官公需・民需共に低調。一部用紙に再値上げの動きがあるが価格転嫁は困難。付帯サービス・加工での高付加価値化や新分野開拓等の増収を模索している。
窯業・土石製品	石灰製造業	鉄鋼向けは、昨年に比べ減少した。建材関係は、昨年に比べ増加した。肥料関係は、昨年と比べ若干減少となった。全体では、昨年に比べ減少した。
	窯業・土石製品製造業	第1四半期の出荷量(4月～6月)の出荷量は、3,382,025トンであり、昨年同期比で4.3%減少している。
	陶磁器・同関連製品製造業	ウェブでの原料の売上が伸びている。業界の状況は暑さのため来客数は減少している。組合員の益子焼の製造はコンスタントに行っている様子。
鉄鋼・金属	金属製品製造業	鋼材需要は全般に荷動きが乏しく厳しい見通し。落雷の影響で電話線やコピー機の故障が発生。猛暑続きに加えコロナ感染も増えてきて夏風邪クラスターに要注意。自動車金型は全くと言うほど動きがない。人手不足であるが減収の状況で、昇給や賞与の対応に悩む日々。足利市内も中堅スーパーが相次いで閉店している。経済がよくなりそうな話題が全くない。
	金属製品製造業	材料(真鍮・銅)など大幅値上がりの為製品も値上げになった。
	金属製品製造業	主な問題点は、仕入価格の上昇、売上の減少、人材不足。
一般機器	一般機械器具製造業	受注の減少により帰休(週1日)せざる得なかったり、定時で終わる企業があったりと状況はあまり良くない。
	一般機械器具製造業	売上高減少及び収益状況が少々増加という組合員企業が多数出ているが、不変とする企業や減少という企業も多数存在する。仕入れ資材の高騰傾向も引き続き存在している。現在、円安にストップがかかり円高に変わりつつあるが、これらの要因による仕入れ資材や諸経費等の影響が懸念されるところである。また賃金アップ等の対応など、今回も経営基盤の懸念ありとの報告がされている。あくまでも企業間格差にはなるが。
	各種商品卸売業	すべての項目で不変とする企業が多く、業況等は前年同期に比べ微増するも不変とする企業が多い。
	各種商品卸売業	業種・取扱商品によって流通量の増減に差がある。全体的に荷動きはあまり良くない。燃料価格は、高止まりが続いており、物価高騰と相まって、収益を圧迫している。輸入関連で円安の影響が大きく出ていて、コストが増加している。従業員の人員確保が難しい。(募集をかけても集まりにくい。)賃金アップについても対応していく中で原資の確保など課題も多い。

小売業	食肉小売業	光熱費・人件費も上がり、円安の影響で他国に買い負けしている。輸入物も国産も牛・豚肉食肉全般が値上がりしており現在も最高値が続いている。まったく利益が出ない。
	その他の小売業	前年同期比で商品仕入単価は上昇しているが、販売価格はほぼ不変となっている。原油価格上昇等の仕入単価値上がり分を販売価格に転嫁することが商材や商慣習上難しい。物価高によるコストアップで、収益圧迫にも繋がっている。
	各種商品小売業	物価高による市場の低迷で得景回復は、見られず「低迷の7月期」。飲食店関係は原材料の引き続き価格の上昇もあって利益減とのこと。一般小売業では、夏休みシーズンで人も増加傾向とやや回復の兆しが見えてきた。ただ後半にきて猛暑に伴い人出が鈍りまだまだ回復は遠いとの声があった。
	各種商品小売業	既存店前年比に関しては、客数及び売上ともに同水準であった。しかし、空床区画が思うように埋まらず、全体としての前年比は難しい結果となっている。猛暑の影響も懸念されたが、もはや例年のこととなっており、それほど気候による変動はないと思う。
	花・植木小売業	高温のため花材を在庫することが難しい。国産花材確保にも影響があり、輸入花材に頼るが、月中頃からこちらも高騰。前年より1.5倍。8月お盆花材の確保及び収益確保についても不安。
サービス業	理容業	物価高騰等の影響で、生活を脅かされている店舗が多いことを受け、収益を上げるための取組を全理連主体で、各県ごとに少しでも組合員の事業活性化のための方法を見出すセミナーを開催する運びとなった。今後、4つのセミナー開催を予定している。
	旅館・ホテル	宿泊は比較的高稼働で推移したがコロナ前とは月ごとの傾向が違ってきているように感じる。宴会では、コロナ宿泊療養施設後の原状復帰作業中により100%ダウン。飲食店では、コロナ前と売上トレンドの傾向が変わってきているように感じる。週末は戻ってきた感じがあるが、物価高による利用控えの影響が飲食店には出ているように感じる。
	ビルメンテナンス業	福祉施設への介護用品等の販売による売上高が増えている。ビルメンテナンス関係の売上高は横ばいの状況。
	給食センター	市内企業においても、廃業や閉店が増え、出資金の返還をするケースが増えてきた。
建設業	職別工事業	売上状況においては対前年同月比において堅著に推移しているものの、依然として材料費等の値上げにより収益は圧迫されている。また、人手不足の状況も依然として続いており今後の大きな課題となっている。
運輸業	貨物自動車運送業	当組合の主であるアルミコイル輸送では、未だに荷主側の生産が増加せず少ない状況である。日用品での小口配送などは増加していることから、ドライバーの労働時間管理に苦慮する。地域内の事業者においては、季節的なこともあり飲料水や生鮮品を手掛ける事業者は配送量増である。
	貨物軽自動車運送業	食料品などの配送が猛暑と共に一か月続いている。自動車部品、建築資材、精密機器など順調に受注をいただき配車が困難になる日もあった。
	一般乗用旅客自動車運送業	東京まで十分に通勤圏であることから、日帰りでの観光客の増加に繋がると感じる。餃子は元より魅力がある食べ物で場所を市役所観光課作成の宇都宮版るぶを活用しながら観光客のみならず宇都宮市民栃木県民に配り微力ながらタクシーとしての役割を果たせればと思っている。売上の的には微増。
その他の非製造業	大谷石採石業	テレビなどで大谷地区が放送されたこともあり、観光客は増加している。